

## 危険物の容器には“表示”が必要です

危険物を容器に収容し、貯蔵、取扱い又は運搬を行う場合は、消防法令により容器の外部に“表示”をしなければなりません。

### 【容器に表示しなければならない項目】

- 1 危険物の品名 ⇒ 例) 危険物第4類  
第1石油類
- 2 危険等級 ⇒ 例) 危険等級Ⅱ
- 3 化学名 ⇒ 例) 引火性廃油
- 4 水溶性のものは「水溶性」
- 5 数量 ⇒ 例) 200L
- 6 注意事項 ⇒ 例) 火気厳禁



内容が分からなければ  
SDS又は分析を行うなど  
して内容を確認しましょう

※「SDS」とは危険物の内  
容を示すデータシート  
のことです

【ドラム缶への表示例】



尼崎市消防局



# 地域救命サポート事業!

**AED設置施設マップ**

「AED設置施設マップ」は、電子地図（Googleマップ）を利用した市内にあるAED設置施設の地図案内サービスです。  
 有事の際には、設置されているAEDを誰でも使用することができ、お出かけの際などは、お近くのAED設置場所を事前に確認することができます。  
 このマップには、市の公共施設と尼崎市防火協会会員事業所（登録事業所のみ）、に設置しているAEDの場所を表示してあります。民間施設等が独自に設置したAEDは表示されていない場合があります。使用可能な曜日や時間でも、必ずしも即時使用可能とは限りませんのでご了承ください。

所在地検索:

**使い方**

- 地図上のアイコンをクリックすると、施設名称・所在地・電話番号、AEDの設置場所・使用可能時間が表示されます。
- 【所在地検索】に所在地を入力し検索ボタンをクリックすると、入力された所在地周辺の地図が表示されます。
- また、地図左上の矢印をクリックしたり地図を下フックしたりすると、地図の表示を移動できます。

## 協力事業所を随時募集しています!

### 【事業参画要件】

事業所内にAEDを設置しており、従業員等にAED講習受講者がいること。

### 【登録申込書の提出】

「地域救命サポート事業」登録申込書に必要事項を記入し、事務局へ提出。

※登録申込書は防火協会ホームページや会員名簿の最終頁に掲載しております。

登録情報は、Googleマップを利用した地図案内サービス「AED設置施設マップ」として、尼崎市公式ホームページよりご確認ください。

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/map/aed/>

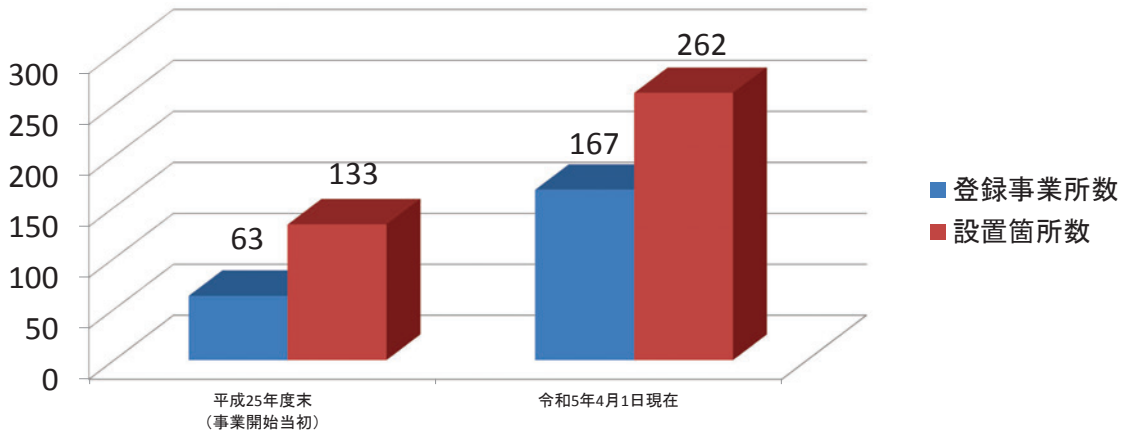
### ※尼崎市防火協会ホームページ

防火協会事業者や支部の活動など、様々な情報を発信していますので、是非ご覧ください。携帯電話のQRコード読み取り機能を利用して、アクセスすることができます。QRコードが利用できない場合は、下記アドレスを直接入力してください。

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/syobo/31371/index.html>



## 地域救命サポート事業の推移



## 「地域救命サポート事業」登録表示プレートについて

尼崎市防火協会会員事業所に設置されているAED(自動体外式除細動器)を、事業所周辺で発生した救命措置が必要な事案に対しても使用できる環境をつくることで、地域の救命率向上を図ることを目的として、平成25年度から本事業が開始されました。

また、AED設置場所に関する情報を尼崎市公式ホームページに掲載し、広く市民等にその事業内容を周知してきました。

今後、更なる救命率の向上を図るとともに、救命措置が必要な事案が発生した場合に、一目でAEDが設置されていることが分かるようにし、スムーズな『救命の連鎖』に繋げるため、本事業に加入されている皆様は配布された登録表示プレートを御掲出ください。

※未加入の事業所は是非積極的なご検討よろしくご願ひ致します。

# 令和4年（1月～12月）

## 火災・救急・救助概要

消防局 情報指令課

### ◆令和4年火災概要◆

#### ○概要

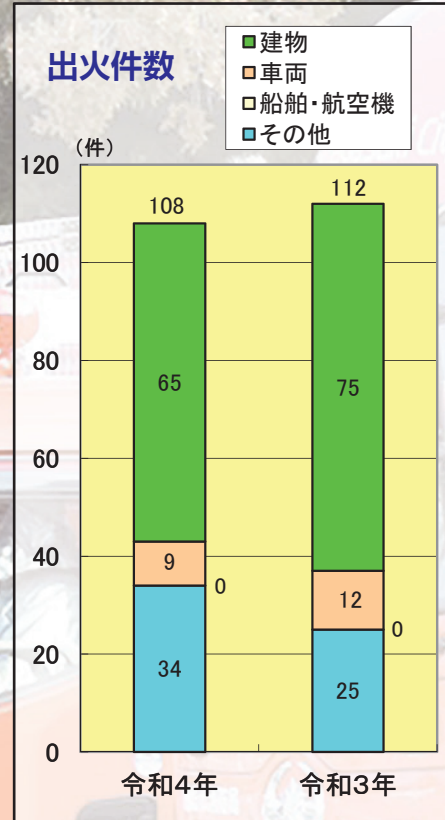
令和4年における火災の状況を見ると、前年と比べて出火件数・焼損面積・焼損棟・死者・負傷者・損害額すべてにおいて減少しています。

出火原因は、「たばこ」が1位となっています。

#### ○出火件数

出火件数は前年の112件から4件減少の108件となっています。

火災種別ごとに見ると「建物火災」が65件で10件の減少、「車両火災」が9件で3件の減少、「船舶火災」「航空機火災」は共に0件で増減なし、「その他火災」が34件の増加となっています。



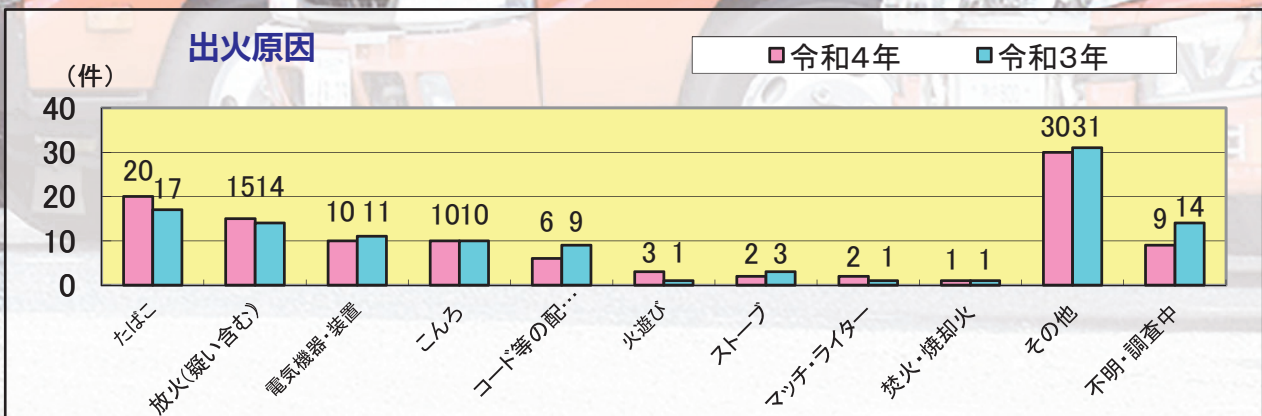
#### ○死傷者数

死者数は前年の7人から5人減少の2人、負傷者数（30日死者含む）は前年の29人から10人減少の19人となっています。

#### ○出火原因

出火原因の1位は「たばこ」の20件で3件増加、2位は「放火（疑い含む）」の15件で1件増加、3位は「電気機器・装置」と「こんろ」が10件で同数となっています。「電気機器・装置」は前年11件で1件減少、「こんろ」は前年10件で増減なしとなっています。

上位4原因の出火件数の合計に対する割合は50・9%となっています。



◆令和4年救急概要◆

○救急出動件数

令和4年における救急出動件数は、3万2856件で、前年に比べて4658件の増加、搬送人員は2万6330人で、前年比3017人の増加となっています。

1日平均の出動件数は90件（前年77件）約16分に1件の割合で救急隊が出動したこととなり、出動件数・搬送人員ともに、救急業務開始以来最多となっています。

○傷病者程度別状況

程度別をみると、軽症1万4197人（前年1万1877人）で2320人の増加、中等症9923人（前年9342人）で581人の増加、重症1899人（前年1786人）で113人の増加、死亡311人（前年308人）で3人の増加となっています。

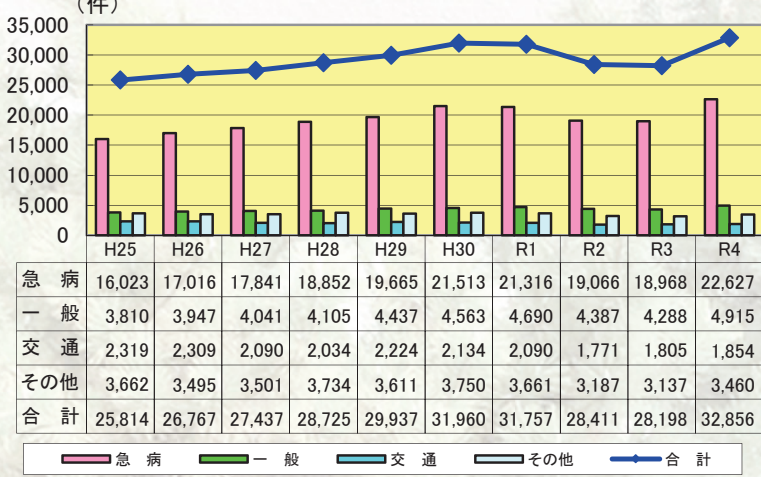
◆令和4年救助概要◆

○救助出動件数

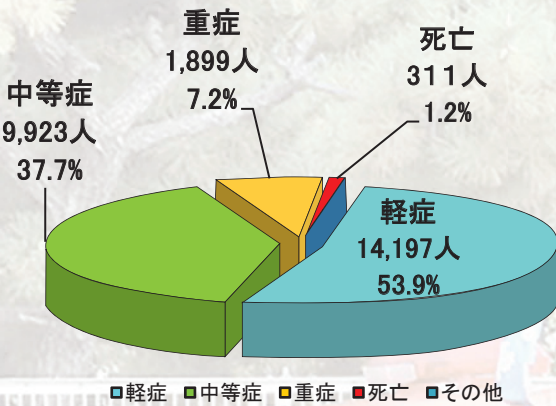
令和4年の救助出動件数は、700件（前年630件）で70件の増加となっています。また、近年では室内閉じ込め救助が増加しており、これは何らかの理由により、自力でドアを開けて外に出られなくなった又は室内に人がいると思われるが、安否の確認ができ

ない状態のことであり、救助出動件数のうち437件（62・4％）となっています。

救急出動件数



傷病者程度別搬送状況



読者の皆様へ

救急需要が多くなっています。救急車が必要になる前に、早めの医療機関への受診をお勧めします。

救助出動件数（事故種別）

